

様式 2

平成19年度第3回文化財保護審議会 会議概要

- 1 審議会名 平成19年度第3回文化財保護審議会
- 2 日 時 平成19年9月27日 午後2時00分から午後4時00分まで
- 3 会 場 明科総合支所2階第1会議室
- 4 出席者 百瀬会長、飯沼委員、宮澤委員、宮下委員、吉澤委員
- 5 市側出席者 高原社会教育課長補佐兼文化財保護係長、土屋文化財保護係主任
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人0人 記者0人
- 8 会議概要作成年月日 平成19年10月9日

協 議 事 項 等

1. 会議の概要

開会（百瀬会長）

議題

1. 安曇野市文化財指定基準案について
2. 豊科本村の菊花紋入り道祖神の文化財指定について
3. 市天然記念物マユミの保護の方向について
4. その他の懸案事項について

報告事項

1. 文化財管理に係るアンケートの結果について
2. 文化財調査委員会について
3. 三枚橋遺跡・藤塚遺跡の発掘調査について

閉会（百瀬会長）

2. 審議概要

議題

1. 安曇野市文化財指定基準案について

■平成19年7月24日開催の文化財保護審議会で、各委員が検討し事務局で修正したものを再度検討する。

委員：安曇野市らしい文化財指定基準として石造文化財を盛込む方針ではあるが、道祖神主体という感がある。石造文化財全体を視野に入れるような基準案にできないか。

委員：石造文化財に関し、彫の深さ等を基準に盛込むことは年代を特定することになる。

委員：石造文化財に関し、「最古」等で年代を特定するのではなく、各時代の特色を示しているものを指定する基準にしたい。

委員：安曇野市らしい基準として「わさび畑」も文化的景観の範疇で考えられるようにしたい。

■その他、語句等について委員から修正案が提示されたため、事務局が各案に基づき修正した指定基準案をまとめ、各委員に送付し加除修正を行ってもらうこととする。

2. 豊科本村の菊花紋入り道祖神の文化財指定について

■事務局より概要説明および文化財調査委員会で調査を行った道祖神リストを提示し、審議会としての方向性を検討する。

委員：文化財調査委員会である程度指定候補物件の数がまとまってくれば、それらを議題にしていけばよい。指定物件は数が多いほうがよい。

委員：単体で指定することが困難な石造文化財については群としての指定も視野に入れられないか。

委員：石造文化財それぞれに時代背景があるため単体での指定の意味が強いほうが望ましい。

委員：指定から補助金という流れの中であっても、住民も一緒になって文化財を保護するという考え方を地域に意識してもらいたい。

委員：石造文化財全般に関しては、文化財調査委員会でリストを作成しそれを文化財保護審議会に提示するという形で審議する形でよいと思う。

■本件に関しては、文化財保護審議会として指定基準の作成を待つ指定していく方向となった。

3. 市天然記念物マユミの保護の方向について

■市天然記念物「矢原社宮地のマユミ」について、所有者から指定解除の要望が事務局に寄せられている。この件に関する保護の方向性について審議会に諮り検討した。

委員：樹木としての寿命はさほど長くはないのではないかと。矢原社宮地という意味合いが文化財としては重要と考えるが、周囲への影響や事故等のことを考えると、樹高を低くするなどの対策も考えられる。

委員：人間の都合で指定解除ということはない。樹木が枯れるまで面倒を見るのが保護ではないか。

委員：県林務課に相談のうえ、樹高を低くするなどの対応を考えていって欲しい。

4. その他の懸案事項について

■特になし。

報告事項

1. 文化財管理に係るアンケートの結果について

■前回の審議会に諮った指定文化財等所有・管理者意向調査について、現時点での回収状況と傾向を事務局より報告した。現時点では自由回答については集計できていないため中間報告となっている。

2. 文化財調査委員会について

■石造文化財調査に関連し文化財調査委員会の活動について事務局より報告する。

3. 三枚橋遺跡・藤塚遺跡の発掘調査について

■穂高交流学習センター建設にかかる埋蔵文化財発掘調査として9月末から実施している三枚橋遺跡・藤塚遺跡発掘調査に関して、現時点までの成果と今後の見通しについて事務局より報告を行う。